

はじめに

近年、急激な少子高齢化や核家族化が進む中、健康を取り巻く環境の変化や住民ニーズの多様化により、生活習慣病の増加をはじめ、日常生活や健康に悩みや不安を抱える方が増えてきております。

現在、当別町では第5次総合計画の施策方針のひとつに「元気なまちづくり」を掲げ、ヘルスプロモーションの考え方を基本に、町民自身が主体的に行う健康づくりと、それを進めるために社会全体で健康を支援する環境づくりの推進に努めているところです。

平成17年3月に「とうべつ健康プラン21」を策定し、平成22年3月に改訂した「とうべつ健康プラン21改訂版」では、健康的な生活習慣による疾病予防のため「身体活動・運動」「栄養・食生活」「こころの健康」「歯の健康」の4つの柱とした一次予防を中心に推進してきました。

「とうべつ健康プラン21（第2次）」では、新たに、「糖尿病・循環器疾患・がん等の生活習慣病」の早期発見・早期治療のための二次予防対策と健康づくりの基盤整備として「感染症等に対する対策」及び「保健・医療体制の確保」を盛り込み、幅広い健康づくりを総合的に推進する計画としました。

これからの10か年については、引き続き「こころもからだも元気がいいしょ！！みんなでつくろう健康とうべつ」をスローガンとし、生涯を通じ住民一人ひとりが自らの健康を保ち、心豊かに生活できるよう、行政、地域、学校、職場、関係機関・団体などが協働で健康づくりを推進してまいります。

最後に、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました「とうべつ健康プラン21検討委員会」の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメントなど様々な機会においてご協力、ご参加いただいた町民の皆様及びを関係機関・団体の方々に、厚く御礼申し上げます。

平成25年3月

当別町長 泉 幸彦